

世界のISO認証件数が発表

ISO(国際標準化機構)中央事務局は、世界のISOマネジメントシステム規格(MSS)の認証件数について集計・調査した“ISO Survey 2019”を公表しました。これは、2019年末時点でのISO9001(品質)、ISO14001(環境)、ISO27001(情報セキュリティ)、ISO22000(食品産業)、ISO45001(労働安全衛生)、ISO13485(医療産業)、ISO50001(エネルギー)、ISO22301(事業継続)、ISO20000-1(ITサービス)、ISO28000(サプライチェーンセキュリティ)、ISO37001(贈収賄防止)、ISO39001(道路交通安全)について集計されたものです。今回、調査対象の12規格すべてにおいてMSS認証数が増加し、認証総件数は前回より約5万件増(3.8%増)の1,357,241件となっています。

前回より認証数に加え、認証サイト数も集計されるようになり、規格別での認証サイト数は、ISO9001は1,217,972件で、国別では日本は3位の82,509件でした。ISO14001の認証サイト件数は487,950件で、日本は74,443件で2位となっています。その他、

ISO27001は16,848件で日本は1位、ISO22000は2,386件で3位、ISO45001は1,072件でした。この調査の詳細については、ISOのホームページでご覧いただけます。(https://www.iso.org/the-iso-survey.html)

グループ会社がIAOBより認証機関オブ・ザ・イヤー2020受賞

2020年10月22日に開催されましたAIAG(全米自動車産業協会)品質サミットにおいて、IATF監督機関であるIAOB(国際自動車産業監督機関)より、弊社グループ会社であるIntertek Testing Services NA, Inc.が認証機関オブ・ザ・イヤーを受賞しました。

この賞は、IATF(国際自動車産業特別委員会)およびIAOBの期待に対し、高い水準で要求を満たしたIATF16949認証機関を表彰するプログラムのことで、インターテックはそれらの要求事項に対する高い品質が認められ受賞することとなりました。

(参照:https://iaob.org/wp-content/uploads/2020/10/IAOB-AN-adv2.pdf)



FSSC22000 V5.1発行

2020年11月3日に、GFSI承認の食品安全マネジメントシステムであるFSSC22000のバージョン5.1が公表されました。V5.1での審査は2021年4月から開始予定となっています。スキーム文書(英文)は、FSSC財団のWebサイトからダウンロードが可能です。

(https://www.fssc22000.com/scheme/scheme-documents-version-5-1/)

ご不明な点等ございましたら、弊社食品認証部(03-3669-7420)までお問い合わせください。

お知らせとお願い(新型コロナウイルスについて)

弊社では、新型コロナウイルス感染症の発生・拡大により、お客様の安全を考慮した上で審査事業を継続しており、お客様と従業員の安全性の確保に努め、滞りなく事業を進めるためテレワークや時差出勤等も導入しております。また、状況に応じてリモート(遠隔)審査も実施しておりますので、弊社ホームページをご参照ください。お客様には、ご不便・ご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、審査に関するご相談がございましたら、弊社各担当地区営業までお問い合わせください。

INFORMATION

～研修部より～

コロナ禍におけるオンラインセミナーとISOを活用した感染対策

インターテック品質・環境・労働安全衛生審査員・講師

船井 勲

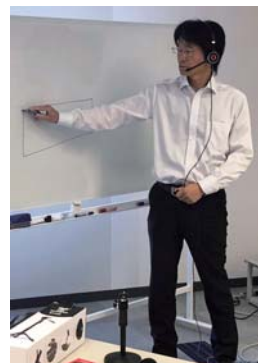
2020年は新型コロナウイルス感染症拡大により、ライフスタイル、仕事の形も大きく変化する激動の年となりました。最近では、若手従業員への内部監査員教育の他、2018年に新規制定されたISO45001の規格解釈等、セミナーニーズが多い中、感染症対策から対面セミナーは中止せざるを得ず、代わりとなるオンラインセミナー開発が急務となりました。研修部では緊急事態宣言中の時間を利用し、このセミナー開発に取り組んでまいりました。

一番の課題は相互のコミュニケーションでした。DVDや録画による動画配信など一方のセミナーが多い中、弊社では双方向のコミュニケーションにこだわり、出来るだけ対面に近い内容、なかでもグループ演習を強化し開発に取り組みました。緊急事態解除の6月には新設セミナーとして初開催し、以後は10回以上、1か月に2回以上のペースで実施し、お客様からもご好評をいただいております。その間も、対面で行うセミナーに近い情報提供が出来るよう改善を重ねています。

オンラインセミナーは、Web会議システムを通じてご参加いただく形で、OS(Windows、Mac等)や端末(パソコン、タブレット、スマート

フォン)の種類に関係なく、インターネット環境があれば受講いただけます。移動費、宿泊費もかからず、費用負担的にもメリットがありますので、ご興味ございましたら是非研修部までお問合せください。

最後に感染症対策とISOについてお話ししたいと思います。ISO45001(労働安全衛生マネジメント)の危険源には「生物学的危険源」の考えがあり、認証企業は仕組みの中で「望ましくない影響の低減…検温、消毒等による感染拡大防止」「望ましい影響の増大…感染予防の意識向上による、社内安全文化の向上」を確立されていると思います。上記のリスクアセスメントプロセスは、通常は、お客様に対し開示する事のない文書類ですが、安全に関する取り組みを対外的に積極アピールし、組織の対外評価及び業績の向上に役立てていただくのも良いかもしれません。



オンライン研修風景